

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 82 号

医療法人 せいらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

発行日：2009年3月5日(木)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(82) 肝と腎



山脇 東洋

梅と桜の季節になりました伽藍根本大塔三昧堂の前の西行桜を訪れたことがあります。わずかな花びらに愛着を示し、桜の花びらの散った姿を暫し留めようと言う西行のひと時の安らぎに共感を覚えながら毎日を楽しんで生きたいものです。

高野の籠もりたりけるころ、草のいほりに花の散り積みければ、散る花の庵の上をふくならば、風入るまじくめぐりかこはん。

日本東洋医学会滋賀県支部も四月から役員改正し、新しい時代に対応できる東洋医学会になる計画です。大学、病院、診療所などが協力し合って患者さんのためによりよい医療を提供できる医師会にしたいと思っています。

肝と腎 ーのお話です。

肝は「疎泄」(自律神経を調節)、「蔵血」(血液の貯蔵と循環を調

節)、「筋を主る」(運動神経機能)、「目と爪と涙」(目と爪に關係)等の機能を持ち、腎は「藏精」(生長、發育、生殖及び生命活動を維持)、「水を主る」(水分代謝と尿の生成)、「骨を主り、髓を生じ、脳に通ず」(骨格形成、知能、知覚、運動に關係)、「耳、



京都御所 梅林

二陰、髪) (聴力、排尿、排便、生殖、毛髪に關係)、「納氣」(肺の吸気機能に關係)等の機能を持っています。「肝の血」と「腎の精」は互いに補う關係にあり、「肝血」が不足すれば「腎精」から補充され、「腎精」が不足すれば「肝血」から補充され、「腎陰虚(腎精不足)」「肝血虚(肝血不足)」になり易い。特に、更年期(五〇代)には、閉經(腎精不足、腎陰不足、肝血不足)になり、顔色や皮膚の艶、髪、爪、目の症状、月經異常(肝血虚)や口や咽の渴きのぼせ、めまい、イライラ、耳鳴(肝陰虚)や腰や膝のだるさ、健忘、性欲減退(腎虚)や不眠、不正出血(腎陰虚)や夜間尿、むくみ(腎陽虚)等の症状が出てきます。肝血、肝陰、腎陰などを補う漢方薬が必要で

では実例に移ります。

二十三歳女性、アレルギー性鼻炎、妊娠三五週、鼻水、クシャミ、鼻閉、流涙(胎児發育は正常)。顔色は両頬紅潮、腹部は柔らかく、胃内停水を認める。脈は浮、滑、細。舌は、淡紅色、薄白苔、湿潤、舌下静脈軽度怒張。そこで、小青竜





湯を処方。その日から症状軽減。
二十九歳女性、アレルギー性鼻炎、
産後二ヶ月、鼻水、クシャミ、鼻閉、
流涙（母乳中）。顔色は両頬紅潮、
腹部は軟弱、胃内停水、臍上悸を
認め、脈は浮、緊、滑。舌は、淡
紅色、薄白黄苔、湿潤、舌下静脈
軽度怒張。そこで、小青竜湯十越
婢加朮湯を処方。その日から症状
軽減。
三十八歳女性、高血圧（一八〇
／一〇〇）、便秘、頭痛、肩こり。
顔色は赤黒く、腹部は堅く、胸脇
苦満、心下痞硬、臍傍に抵抗と圧痛。
脈は沈、実、数。舌は、紫紅色、
黄膩苔。そこで、大柴胡湯十通導
散十桂枝茯苓丸十釣藤鉤十菊花を
処方。二週間後、便通、頭痛は改
善（一六〇／一〇〇）。二ヶ月後、
一六〇／九〇。六ヶ月後、一四〇
／九〇、一年後、一三〇／九〇。
三年後の現在も継続中（一二〇／
八〇）。
五十二歳女性、めまい（発作は消
失）、一五四cm、六〇kg（耳鼻科、
脳外科で腫瘍や内耳障害は否定）。
顔色良好、食欲良好。お腹は力が
あり、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、
脈は浮、滑、実。そこで、柴胡加



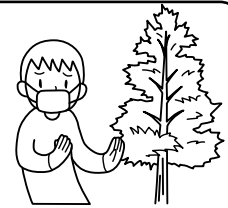
〔院長〕

竜骨牡蠣湯十白朮十甘草十沢瀉十
菊花を処方。二週間後、ふわふわ
感や不安感が軽減。二ヶ月後、症
状消失。二年間服用後廃薬。
二十二歳女性、無排卵性月経、
便秘（三〜七日に一回排便）、冷え、
疲労感。顔は血色不良、腹は軟弱で、
心下痞、臍上悸、脈は沈細遅。舌
は暗紅色、乾白苔。子宮も卵巣も
正常サイズ（ホルモン検査値ほぼ
正常）。そこで、十全大補湯十サ
フラン十修治附子を処方。三ヶ月後、
排卵を認めた。三年後の現在も排
卵を認めている。服薬中。
次回は、子宮内膜症 IVです。



アレルギー性鼻炎

1～5月頃、8～10月頃の季節に発症する人と年中症状のある人がおられます。
花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化の影響が大きいと思われます。鼻水、
鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬（発作用）と体質改善の漢方薬があります。
また、血液でアレルギー検査（花粉、動物の毛、食べ物など）もできます。



高血圧

がっしりした肥満タイプでのぼせ、いらいら、便秘、不眠、動悸、首のこりや
肩こりを訴えるタイプと青白く細い体型で、胃腸が弱く、冷え性、虚弱、肌が
荒れやすいタイプがあり、腹診、脈診、舌診、問診（食欲、便通、尿量、発汗、
ストレスなど）、検査などに基づいて適切な漢方処方を決めています。



めまい

生命にかかわるめまい（脑梗塞、出血、腫瘍、外傷など）でなければ、漢方薬
中心の治療がよいでしょう。発作の時は、注射や点滴や煎じ薬でめまいを早く治療
しましょう。しかし、なによりもめまいを起こしやすい体質を漢方薬で改善し、生活、
環境、食事、心の調和をとり、無理のない生活を送ることが必要です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器** (無料) をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 中程度の病氣：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約－漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝 ・ AHC ・ サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き、**処置**の欄にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	○(予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	産後相談(予約)(有料) 母乳相談(予約)(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○(予約可)	—	○(予約可)	—	○(予約可)	—	—

- ◇漢方外来 (月～土)(予約可): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土)(予約可): 更年期の方、思春期の方 (女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土)(予約可): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土)(予約可): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成21年4月11日、5月9日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。
立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成21年3月11日(水)、21日(土)、4月1日(水)
15日(水)、25日(土)、5月13日(水)、23日(土)

対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

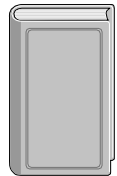
母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には
母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。

(“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)



山脇東洋(1706～1762)

後藤良山に古医方を学び、「傷寒論」を始めとする唐以前の医学書を中心に研究したが、「千金方」「外台秘要方」などの処方方、民間伝承の奇方も好んで処方した。1754年には、京都六角獄舎で屍体を解剖し、漢方医による五臓六腑説など、身体機能認識の誤り指摘し、「蔵志」を刊行。門人に山脇東門、永富独嘯庵らがいる。杉田玄白、前野良沢らが正確性の高いオランダ医学書の翻訳に着手するきっかけを作った。その他、「養寿院医則」「山脇家八十二秘方」どの著書がある。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。ご予約には、
分娩予約カードと予約金10万円が必要です。予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

漢方のお茶(清暑益気湯(せいしょえつきとう)加減)

疲労回復にもってこいのお茶です。ちょっと疲れ気味の方はお試しください。妊娠中の方も飲みください。

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

産後健診と赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院でお産される方に、10月より登録証を発行する予定です。(妊娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。